

1. イベント概略

今回は今年4月に開校した我々の母校である関西学院大学の初等部（小学校）の施設見学会と大学生による講演会（研究発表）を開催しました。懇親会ではKGRC会員だけでなく大学生との交流もあり非常に盛り上がりました。

開催日時

・平成20年9月24日（水） 16:00～20:30

概要

- 【第1部】（16:00～17:00）
施設見学会：関西学院初等部
- 【第2部】（17:30～18:30）
講演会（研究発表）：宝塚ホテル
- 【第3部】（18:30～20:30）
懇親会：宝塚ホテル

参加者

- 【第1部】 28名（KGRC会員のみ）
- 【第2・3部】 50名（KGRC会員 32名・学生及び講師 18名）

2. イベント内容のご紹介

第1部（施設見学）

- 【施設概要】所在地： 兵庫県宝塚市武庫川町6-27
（宝塚ファミリーランド跡地の一部です）
- 敷地面積： 13,500㎡
構造・規模： RC造 3階建
建築床面積： 8,700㎡
開校： H20.4

【施設内部】

建物外観・内部の写真です。非常に立派な施設で設備も充実していました。施設・設備のひとつひとつに子どもの成長・教育のための工夫がなされていました。写真では少ししか紹介できないのが残念です。

（外観）

立地が良く、緑も多いですね。子どもの成長・教育にはもってこいの場所ですね



（外観）

正面玄関です。守衛さんがしっかり子どもたちの安全を見守っています。



小さくてよく見えませんが、小嶋さん（右側）とKGRCのアイドル濱中（左側）さんです。

どうでもいいことですが、守衛さんはナイナイの岡村君にそっくりでした。

（外観）

立派な建物ですね。建物の西側入口です。でも、この正面には阪急さんのジグラーが...



（食堂）

給食はないので、お弁当を食べる場所です。昼食は全学年の交流の場となります。



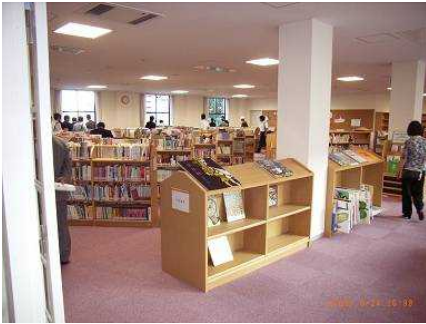
（図書室）

子どもの成長に合わせ3万冊の書物が置かれています。本棚も子どもの目線に合わせて

（教室）

手前側に教室と同じ広さのスペースがあり、ワークスペースや間仕切りをとって隣の教室と

あります。



一体にし、集会室として活用できます。



(ベーツ・チャペル)

毎日の賛美歌を奏でるパイプオルガンや窓ガラスとして使用しているステンドグラス等、細かなところに、色々なところにこだわりがあります。初等部の教育もここから毎日が始まります。



(磯貝部長)



単なる学力の向上だけではなく、人間形成の第一段階である小学生のこの時期に「情操豊かな精神性」「論理的に考える力」「創造性」「表現力」「国際感覚」等を身につける場となれるよう、様々な工夫やカリキュラムが組まれています。
～詳しくは初等部のホームページ～
<http://www.kwansei.ac.jp/elementary/index.html>

第2部 (講演会...研究発表)

第2部は学生による講演会(研究発表)でした。高橋先生の司会進行のもと「地域活性化プロジェクト(地域フィールドワーク宝塚)」の取り組みについて3つのテーマで発表していただきました。発表内容もすばらしかったですが、何よりKGRC会員を含め大勢の前で堂々とプレゼンできていたのが非常に印象的でした。また、厳しい諸先輩からの質問?っこみ?いちゃもん?にもきちんと回答できていたのでちょっとびっくりしました。

(高橋先生)



～高橋先生プロフィール～
関西学院大学 商学部 総合コース 社会連携センター
非常勤講師 兼 客員研究員 兼 文科省現代GP研究員
阪急電鉄・森組 常務執行役員

～地域フィールドワーク宝塚とは～
2003年に宝塚市との間で連携協定を締結し、「地域フィールドワーク宝塚」という総合講座(4単位)を2005年に開講。以来、地域の商店街や市民と協力して、行政と密な連絡体制をつくり、地域活性化の基礎づくりを推進。05年に文部科学省の現代GP認定、また市は本年3月、中心市街地活性化基本計画の認定を受ける。

テーマ: 都心インフラ・観光都市(コミュニティ醸成)



夜の宝塚「光の散歩道」、エンタテインメントの宝塚「音楽回廊」等を通じて、都市のインフラ(トラム)



日本出版」守を担って、都市の「インフラ（インフラ）
運行と賑わい活性化を目指しています。

後ろに写っている5人の学生を中心
に活動を行っています。

浜島です。エール
は俺に任せろ。

テーマ：映像ワークショップ（メディアサポート）



宝塚歌劇・手塚治虫といった文化を、今年開校した小
学校を中心に、子どもたちがレンズを通して地域のポ
テンシャルを検証しています。内容については200
5年卒の松本氏から説明がありました。

テーマ：逆瀬川商店街活性化（商業イノベーション）



逆瀬川アピアの既存個店販促や賑わいをつくりなが
ら、本来あるべきショッピングセンターの姿をマーケ
ティングし、新しいライフスタイル、コンセプトワー
ク等、基本計画の提案化、組織や収支やハード構成を
行なっています。この活動は朝日放送（9/16放送
NEWSゆう）の番組でも取り上げられました。

第3部（懇親会）



大段名誉会長のご発声により懇親会がスタート。
今回の学生の活動に大感激されたご様子で、母校
の発展のためにこのすばらしい活動を是非、継続
して欲しいとおっしゃられてました。



どうもー、尾久土ブラザーズでーす。
え？似てない？

尾久土（弟）さんは和歌山大・地域再生学科教授で
す。今回の学生の活動に大変感激されておられまし
た。和歌山大も国立では初めての取り組みであるス
ポーツ推薦枠を採用し、大学の活性化に取り組んでい
かれるようです。



必ずマイクをにぎる幾谷さんのご登場です。今回の勉
強会に対して2つのことを言っておられました。
金もらってやってる社会人でもうまくいってないね
んから、無償でやってる学生さんはできなくて当然と
いう、いい意味で聞き直ってがんばって継続して欲し
い。
原因・理由はいろいろあるが、出会いは必然。その
つながりを大切に。
一つ目のコメントはちょっと過激な発言にも聞こえました



が、深い意味ありですよね。2つ目はさすが副会長ですよね。

浜島さんの大エール

お待たせしました。今回の勉強会での一番の収穫と言っても過言ではないありません。下の写真はバラバラ漫画ではありません。浜島さんの大エールです。エールをやるつもりはなかったというそぶりを見せながらも、ご覧下さい、しっかりと手袋まではめてます。準備万端ですよね。今回が初披露ですが、今後もエールのオファーが殺到しそうな予感です。



今回の勉強会は今までとはちょっと趣向を変え、大学生を交えた勉強会を開催致しました。

学生からは「非常に勉強になり有意義だった」「不動産業界に興味を持った」「社会人との交流の場があれば次回も是非参加したい」等のコメントを多くいただき、非常に好評でした。

今後もたまには趣向を変え、色々な形の勉強会を開催を試みたいと思います。

最後になりましたが、スタディグループ幹事の浜島さん、大学との調整、施設見学の段取り、懇親会の会場の調整までして下さい、大変だったと思います、お疲れ様でした。

また、スタディグループの他のメンバーの方も事前調整や当日の段取り等、大変お疲れ様でした。次回の勉強会も盛況になるよう一丸となつてがんばっていきましょう。